

2022年7月25日

にじの会利用者・ご家族の皆様

にじの会関係者の皆様

にじの会理事長 石崎優仁

2回目の新型コロナウイルス施設内感染収束の報告

第7波の感染急拡大の中で、7月10日に2回目の施設内感染が発生致しました。感染拡大防止の措置をとり感染は発生部署のみに留めることができ、7月25日に発生部署の隔離も解除し通常の活動に復帰しております。

1. 施設内感染状況

- ① 感染者は、利用者10名・職員5名 計15名です。
- ② 感染発生部署は大沢にじの里3F生活フロアです。
- ③ 感染経緯と症状
 - ・7月10日に帰宅中の大沢にじの里3F利用者が発熱し抗原検査で陽性が確認されました。連絡を受け、直ちに発生部署の利用者の隔離とPCR検査を実施しました。
 - ・感染が発生した7月10日から13日までに発生部署の大沢にじの里3F利用者中10名が陽性と判明しました。
 - ・職員については、発生部署の職員4名が陽性となり、その後応援の職員1名が陽性となりました。
 - ・今回の陽性者の症状は感染2～3日後に38度前後の発熱とどの痛みがあるケースが多く出ていますが、無症状が続いているケースもあります。

2. 感染拡大防止対策

- ① 発生直後の拡大防止策
 - ・大沢にじの里各生活フロアは各々隔離して生活支援し、利用者は個室隔離を徹底実施しています。短期入所は一時休止しました。
 - ・大沢にじの里・にじアート・未来工房にじの日中活動は各所の利用者・職員の陰性確認ができるまで休止しています。
 - ・にじの会の3ホームは、各ホームを隔離し生活支援し、利用者は個室隔離を実施しています。
 - ・にじアート放課後等デイサービスはにじアートの陰性確認ができるまで休止しています。
- ② PCR検査の徹底実施
 - ・10日は発生部署の利用者全員と最初の陽性者と接触可能性がある人のPCR検査を

実施しました。

- ・ 11日は日中活動を休止し全生活支援部署の利用者と生活・日中担当職員のPCR検査を実施しました。
- ・ 12日は日中活動を休止して全通所利用者と就労部門の職員のPCR検査を実施しました。
- ・ 10日に隔離した発生部署の陰性利用者と支援職員のPCR検査を毎日実施しました。その結果3日間にわたり陰性利用者から陽性者が判明して陽性者隔離とし、18日に応援職員1名の陽性が判明して自宅隔離にできました。

3. 各事業の再開と隔離の解除

- ① 発生部署以外の部署は、11・12日の2日間の休止中に利用者・職員の陰性確認ができたので、13日から通常の事業を再開できています。
- ② 大沢にじの里生活3Fは全員の隔離期間が終了するまで隔離を継続し、25日に隔離解除ができました。3Fの短期入所も同期間休止しています。

4. 今回の施設内感染の発生要因と拡大防止成功の要因

- ① 今回の施設内感染は7月7～9日に大沢にじの里3F生活の職員（又は利用者）が無症状で接触し発生したと思われるが、BA5型の特徴で2～3日無症状のケースが多く、具体的な感染原因は把握できていません。
- ② 今回の施設内感染は週末に発生したので、発見前の日中活動による他部署への拡散がなかった事が幸いしています。
- ③ 前回の施設内感染の教訓を生かして、陽性者の接触可能性がある人の隔離とPCR検査をすぐに実施した事で隔離者以外の感染を防止できました。また、全員のPCR検査を適時に実施する事で、外部からの感染の追加を防止できた事も効果的でした。
- ④ 隔離場所支援の職員の感染防止は、かなり改善し応援職員1名の陽性発生で留めることができました。

以上のような施設内感染の経過ですが、今回のBA5型は感染力の強さと発症までの日数があることで早期発見が難しいケースが多いと思われます。今後、感染予防策を一層強化する事が必要になっています。